

平成 2 5 年 版

消 防 年 報



甘 木 ・ 朝 倉 消 防 本 部

表紙写真

岩屋神社本殿(朝倉郡東峰村)

中国・北魏からの渡来僧・善正が修行場・英彦山を開いた翌年の532年、宝珠山宝泉寺大宝院として開かれたといわれている「岩屋神社」。英彦山権現と同じく、伊弉冉尊(いざなみのみこと)、伊弉諾尊(いざなぎのみこと)、天忍穗耳尊(あめのおしほみのみこと)の三神をご祭神としている。547年、宝珠山という地名の由来でもある宝珠石(別名:星の玉)が天から飛来し、ご神体として神殿に安置されることとなった。17世紀に建立された本殿は国重要文化財に指定されており、2005～2006年に解体・復元工事が行われた。周辺の岩屋公園は、火山活動や風化侵食によってできた天然の奇岩群・窟群を形成し、ご神木の一つでもある樹齢700年のイチヨウの巨木や、朝鮮半島の金剛山と対馬以外ではここにしか見られない玄海ツツジ、高さ約18メートルもの大ツバキが自生し、いずれも県天然記念物に指定されている。

は し が き

この年報は、甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防の現勢と平成25年中における消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

本書は、平成26年4月1日を基準に作成し、警防編の統計は暦年、その他については会計年度で表し、一部当該表に記載する年月日により編集しています。

平成26年 7月

甘木・朝倉消防本部

平成26年度全国統一防火標語

もういいかい

火を消すまでは

まあだだよ

INDEX

総括編

管内の概要	1
圏域の紹介	2
管内図と庁舎の現況	4
消防の歴代管理者	6
消防本部、消防署の組織	8
消防本部、消防署の事務分掌	9
消防相互応援協定の状況	11
消防本部の沿革	12

総務編

職員の配置状況	21
職員の任用状況	21
職員数の推移	21
職員の勤続年数調	22
職員の年齢調	23
職員の教養実施状況	24
職員の資格保有状況	25
当初予算額	26

予防編

建築確認同意事務処理の状況	27
防火対象物の状況	28
中高層建築物の現況(4階以上)	30
各種届出事務処理の状況	31
危険物施設の状況	32
危険物施設の査察実施状況	32
危険物規制事務処理の状況	33
危険物手数料徴収の状況	33
甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会	34
甘木・朝倉防災協会	35
筑後地区消防設備士会朝倉部会	35
外郭団体の活動	36

警防編

車両の配置状況	37
消防水利の状況	37
消防機材の配置状況	38
火災の概要	39
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	40
原因別の出火件数	42
火災件数10年の推移	42
救急の概要	43
市町村別の救急状況	44
月別、時間別の出場件数	45
性別、年齢別、程度別、月別の搬送状況	46
程度別の搬送状況	47
救急出場件数10年の推移	47
応急手当の普及啓発活動状況	48
救命スタッフのいる事業所認定制度	48
救助の概要	49
月別、市町村別の出動件数	49
事故種別、発生場所別の出動件数	50
事故種別比較表	50
事故種別、出動人員、活動人員	51
救助出動件数10年の推移	51
通信指令系統図	52
119番着信状況	53
医療機関案内状況	53

消防団編

消防団員数	54
車両台数	54
年齢別団員数	55
在職年数別団員数	55